

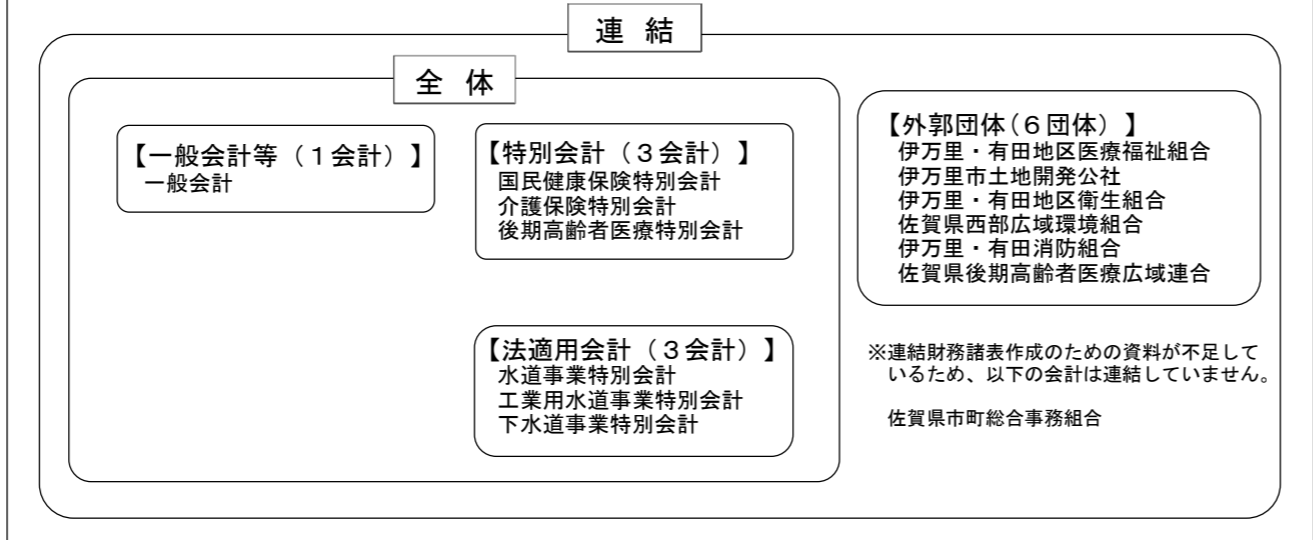
# 伊万里市財務3表の概要 (令和4年度)

## 新地方公会計制度

現在の地方公共団体の会計は、現金主義・単式簿記に基づいており、その年度の現金収支を把握するのに適していますが、これまで積み上げてきた資産や借入金などの負債についてのストック情報、行政サービスにかかったコスト情報などが不足しており、総合的な財務情報を把握するには向いていません。  
伊万里市では、平成26年度決算から、発生主義・複式簿記の考え方を取り入れた「統一的な基準」に基づき財務書類を作成しています。

## 対象となる連結の範囲

新地方公会計制度においては、伊万里市全会計のほか、他の自治体との一部事務組合などの関連団体も含めた連結の財務諸表を作成することが求められています。



## 市民一人あたり

※令和5年3月31日現在の人口 (52,428人) で算出しています。

### 貸借対照表

	R3		R4		負債	R3		R4	
	一般会計等	連結会計	一般会計等	連結会計		一般会計等	連結会計	一般会計等	連結会計
資産	140	277	140	277	負債	50	143	49	140
					純資産	90	133	91	137

### 行政コスト計算書

	R3		R4	
	一般会計等	連結会計	一般会計等	連結会計
1. 経常費用計(行政コスト総額)	56	98	58	101
2. 経常収益計	2	10	2	11
純行政コスト	54	88	56	91

## 貸借対照表

➤ 年度末において、市が所有している財産(資産)をどのような財源(負債・純資産)で確保してきたかを一覧にしたものです。表の左側(借方)の資産は、市が所有している財産の内訳で、行政サービスの提供能力を示しています。表の右側(貸方)の負債は、市の債務の内訳を示し、将来の世代の負担で返済していくものです。純資産は、資産を所有するために現在までの世代が負担してきた金額で、資産と負債の差額となっています。  
(資産合計 = 負債合計 + 純資産合計)

資産	借方				貸方				
	R3		R4		R3		R4		
	一般会計等	連結会計	一般会計等	連結会計	一般会計等	連結会計	一般会計等	連結会計	
1. 固定資産	70,977	135,284	69,352	132,092	1. 固定負債	23,996	70,113	23,628	67,507
道路、橋、公園、学校、庁舎等					①地方債等	19,958	45,079	19,598	42,923
①有形固定資産	65,344	128,254	62,784	123,913	②退職手当引当金	3,943	4,745	3,922	4,729
②無形固定資産	7	14	10	17	③その他	96	20,290	107	19,856
③投資その他の資産	5,626	7,016	6,558	8,162	2. 流動負債	2,285	5,977	2,208	5,736
2. 流動資産	3,119	11,423	4,105	13,197	①1年以内償還予定地方債等	1,772	4,268	1,669	4,160
現金や基金等現金化 することが可能な資産					②未払金	2	843	3	664
①現金預金	809	6,324	1,307	7,219	③その他	511	866	535	912
②基金	2,273	2,378	2,760	2,813	負債合計	26,282	76,090	25,836	73,243
③その他	37	2,721	38	3,164	純資産				
資産合計	74,096	146,707	73,457	145,289	支払済の正味資産	47,814	70,617	47,621	72,046
					負債・純資産合計	74,096	146,707	73,457	145,289

※四捨五入しているため一致しない部分があります。

## 資金収支計算書

➤ 1年間の資金の増減を「業務活動収支」、「投資活動収支」、「財務活動収支」に区分し表示したものです。

科目	R3		R4	
	一般会計等	連結会計	一般会計等	連結会計
イ. 業務活動収支	2,646	6,566	2,659	5,701
ロ. 投資活動収支	△ 2,805	△ 3,754	△ 1,698	△ 2,575
基礎的財政収支 (イ+ロ)	△ 159	2,812	961	3,126
ハ. 財務活動収支	586	△ 1,385	△ 462	△ 2,229
1. 本年度資金収支額 (イ+ロ+ハ)	427	1,426	499	897
2. 前年度末資金残高	342	4,858	769	6,284
3. 比例連結割合変更に伴う差額	0	0	0	0
4. 本年度末資金残高 (1+2+3)	769	6,284	1,268	7,181
5. 前年度末歳計外現金残高	40	40	40	40
6. 本年度歳計外現金増減額	0	0	△ 2	△ 2
7. 本年度末歳計外現金残高 (5+6)	40	40	38	38
8. 本年度末現金預金残高 (4+7)	809	6,324	1,307	7,219

※四捨五入しているため一致しない部分があります。

## 行政コスト計算書 及び 純資産変動計算書

➤ 1年間の行政運営コストのうち、福祉サービスなどの提供といった資産形成に結びつかない行政サービスに要したコストを人件費、物件費等、その他の業務費用、移転費用に区分して表示したものです。

科目	R3		R4	
	一般会計等	連結会計	一般会計等	連結会計
1. 経常費用計(行政コスト総額)	29,541	52,025	30,211	53,129
①人件費	4,185	6,829	4,071	6,693
②物件費等	9,509	14,283	9,758	14,779
③その他の業務費用	335	1,305	461	1,266
④移転費用	15,512	29,609	15,921	30,390
2. 経常収益計	865	5,331	953	5,654
①業務収益	344	4,490	347	4,746
②業務関連収益	520	841	606	908
3. 臨時損失	265	289	186	279
4. 臨時利益	47	52	26	96
純行政コスト (1-2+3-4)	28,895	46,930	29,418	47,657
5. 財源	28,388	47,895	29,245	49,243
①税収等	18,679	25,959	19,375	26,897
②国県等補助金	9,708	21,935	9,869	22,347
本年度差額 (5.財源-純行政コスト)	△ 507	964	△ 173	1,587
6. 資産評価差額	0	0	0	0
7. 無償所管換等	247	△ 22	17	△ 92
8. その他の純資産変動額	21	80	△ 38	△ 65
本年度純資産変動額	△ 239	1,022	△ 194	1,429
前年度末純資産残高	48,053	69,595	47,814	70,617
本年度末純資産残高	47,814	70,617	47,621	72,046

※四捨五入しているため一致しない部分があります。